

児童館とNPOの協働事業に 助成をします

2011年度は例えばこんな活動に助成をしました



障害を持った人たちの地域での生活を支援するNPOと、地元の商店街でハロウィンの仮装行列をしました。

子どもたちの交流になっただけでなく、商店街やNPOとつながりのある地域団体など、これまでつながりがなかった団体とのつながりが広がりました。地域に見えるイベントをしたことで児童館とNPOのことについて多くの方に関心を持っていただきました。

乳幼児親子からお年寄りの方まで幅広い世代の地域の方が商店街に集まり、ひとつの行事を一緒に楽しめたことで商店街も賑やかになりました。



伝統工芸を受け継ぐ活動をしている若手職人によるNPOとろくろでの陶器作り体験をしました。

普段あまり体験できる事ではない事を体験できました。形の無い所から、自分でイメージをして物を作り上げる事で、子ども達の創造性も養われたと思います。個々の作品も個性あふれる素敵な物ばかりで、焼きあがりを見た時は歓声が上がりました。

我々でだけでは、決して体験させてあげられないプログラムが実現でき、子どもたちも「どうせできない」から「できるかどうか、言ってみよう」に変わってきたと思います。

www.npo-dondoko.net

主催：特定非営利活動法人 日本NPOセンター

協力：財団法人 児童健全育成推進財団 協賛：財団法人 住友生命社会福祉事業団

NPO どんどこプロジェクトって？

健全育成環境をつくるために「地域ぐるみで共に支え育ちあう」仕組みを、多様な主体の「連携」や「協働」でつくることが期待されています。本プロジェクトでは、行政の縦割りを超えて地域の課題に主体的に取り組んできたNPOと、子どもの拠点として活動してきた児童館との連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気づき、学びあう環境を創出することを目指しています。これまでの成果はホームページに掲載されています。

(www.npo-dondoko.net)

助成対象は？

上記の趣旨に賛同して協働事業を行いたい児童館とNPOを募集します。NPO や児童館との協働経験は問いません。また、地域のNPOや児童館とのつながりがなくても応募いただけます。このために新規事業を企画しても、既存事業をバージョンアップする形でも結構です。児童館「だけ」、NPO「だけ」でプログラムを実施するのではなく、多様な団体と協働してみたい!という思いのある児童館やNPOをお待ちしています。

現時点で協働相手が決まっていない場合は？

「こういうことをしてみたい」という希望を書いて応募してください。協働相手を紹介できるかどうか、事務局で調整をします。なお地域に協働できる相手がない場合は事業ができないことがありますので、ご了承ください。

助成額のしくみは？

- ◎1件あたり20万円を上限とします。
- ◎児童館単位でも複数館での合同事業でも応募できます。
- ◎原則として1館1事業の助成ですが一連の事業であれば複数日にわたる活動も可能です。
- ◎「協働」での事業ですので、選定に際しては児童館はもとより、NPOの主体性や専門性が発揮されることも考慮します。
- ◎助成期間：決定後～平成25年2月末日

応募方法は？

所定の申込み書を4月27日（金）（必着）までにお送りください。
FAX・Emailでの送信が可能です。
お送り先
財団法人児童健全育成推進財団
（担当：広報部 阿南）
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷 2-12-15-7F
FAX: 03-3486-5142
in4@kodomo-next.jp

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 日本NPOセンター
（担当：吉田）

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1
新大手町ビル 245

TEL: 03-3510-0855

財団法人 児童健全育成推進財団
（担当：広報部 阿南）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15-7F

TEL: 03-3486-5141